

## 【山形県西置賜郡飯豊町】

### 校務DX計画

飯豊町における校務DXの取り組みは、下記の項目について重点的に実施する。

#### (1) 校務支援システムについて

本町では、中学校では平成30年2月から、また小学校では平成31年4月から校務支援システムを導入し、児童生徒の名簿、出欠、成績及び指導要録作成等について校務支援システムによる管理を行っている。現システムはオフラインだが、将来的には校務システムをクラウド対応にし、学習eポータルを利用し連携できることを目標としている。

#### (2) 校務系・学習系ネットワークの統合

令和7年度にデジタル教科書が完全クラウド化することをきっかけに、学習系ネットワークを廃止し、UTMでセキュリティ強化された回線を使いクラウド運用することで、校内のセキュリティを強化する予定である。

#### (3) 保護者連絡アプリの導入

家庭環境が多様化している児童生徒の状況に応じた個別サポートを学校で円滑に行えるようにするため、保護者連絡アプリの導入を令和7年度に導入する。児童生徒の欠席、健康状態の連絡について、保護者からはPC、スマートフォン等のアプリ上で簡易に可能とし、学校においてはそれらの最新状況が校務PC画面上で確認ができるものとする。

また、学校及び教育委員会からは、連絡文書の電子データでの送付や緊急時連絡、およびそれでの保護者の既読状況を確認できるようにする。

#### (4) 学習eポータルの活用

令和5年度までは学習eポータルは契約しておりアカウント登録も未着手だったが、令和6年度より試験運用を行い、令和7年度より町全体で本格運用することになった。学習eポータルを中心にドリルアプリ、デザインアプリ、授業管理アプリなどを接続し、児童生徒にも使いやすい画面に設定した。簡単にすることで授業中の無駄な時間を大幅に節約することが見込まれる。

#### (5) 計画期間

上記の取り組みは、令和7年度から令和11年度に実施することとする。